

探究・校務改革 支援補助金 2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

効果報告レポート

【事業者名】

スタディポケット株式会社

【サービス名称】

校務支援 生成AIサービス「スタディポケット for TEACHER」【単体利用プラン】
学習支援 生成AIサービス「スタディポケット for STUDENT」【単体利用プラン】

【サービスの支援項目】

カテゴリ1-1 探究的な学びの高度化 メインサービス

カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス

2026年1月

スタディポケット for TEACHER スタディポケット for STUDENT



スタディポケット

■ 探究・校務改革支援サービスの概要

1. サービスの概要、特徴

カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス

『校務支援 生成AIサービス「スタディポケット for TEACHER」【単体利用プラン】』

「スタディポケット for TEACHER」は、授業準備や教材作成、個別指導のサポートなど、教育現場の負担を軽減し、より効果的な指導を実現するための機能を備えた学校の先生向けの生成AIサービスです。

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

スタディポケット for TEACHER は、教育現場や教職員の校務支援に特化した生成AIサービスです。担任業務から管理職(教頭等)の業務まで幅広く対応しており、校務文書作成や授業準備などを効率的に支援します。校務の効率化・省力化を通じて、教員の「働き方改革」や「校務DX」を実現し、生徒と向き合う時間を増やすことに寄与します。教育現場での利用を前提に設計されているため、一般的な生成AIサービスと異なり、校務や授業に即したテンプレートを多数備えている点が特長です。また、文部科学省の「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン」に準拠して開発されており、入力した情報はAIの機械学習には利用されません。

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

教職員の業務負担を大幅に軽減できます。例えば、教材作成や課題作成、個別指導用の問題作成に費やす時間は、1日あたり平均2~3時間とされています。本サービスを活用することで、AIが自動で教材や指導案を生成し、課題の作成・採点も支援するため、これらの業務時間を50%以上削減できる可能性があります。また、生徒からの質問対応にかかる時間も、AIが補助することで1日あたり30分~1時間程度の削減が期待できます。年間で換算すると、1人の教員あたり約200~300時間の業務削減が見込まれ、結果として教師が授業研究や生徒対応により多くの時間を割くことができるようになります。

(3) サービスの活用場面

授業準備(教材プリント作成)・学習支援(説明、添削、問題生成など)・校務(お便り会議資料文書作成)・学習の個別最適化(質問対応、理解度サポートなど)・生徒の探究学習支援・生徒指導相談対応補助

(4) 1サービスあたりの標準販売価格

※金額については個別にお問い合わせください。

2. サポート内容(サービスの利用に際しての自社のサポート体制等)

活用促進に向けた研修や、電話・メールでの問い合わせサポート。および、進捗状況のヒアリング等でプロアクティブにお困りごとの解消。

■ 探究・校務改革支援サービスの概要

1. サービスの概要、特徴

カテゴリ1-1 探究的な学びの高度化 メインサービス

『学習支援 生成AIサービス「スタディポケット for STUDENT」【単体利用プラン】』

「スタディポケット for STUDENT」は、安全性や学習段階に応じた使い方を重視し、探究学習や受験対策など幅広い学習場面で活用できる、学校現場に特化した生徒向け生成AIサービスです。小学生から高校生まで安心して利用できます。

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

小中学校から高校生まで、学校現場に特化した生成AIサービス「スタディポケット for STUDENT」は、安全性や学習段階に応じた使い方を重視し、探究学習や受験対策などさまざまな場面で効果的に活用できる機能を備えています。

- ・小、中学生から高校生（大学受験対策）まで幅広い学校現場向けに開発された生成AIサービスです。
- ・探究学習（総合的な学習の時間）や英語、国語、社会科、情報など、あらゆる教科での活用が進んでいます。
- ・文部科学省の生成AIガイドラインや、教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン等に対応するために、生徒のプライバシー保護に重点をおいています。
- ・LLMの再学習に使用されないための、安心なセキュリティ設定を備えています。
- ・生徒児童が、生成AIから直接答えを得ずに「問いを深めていく」チューターとしての機能を搭載。たとえば小中学校の初期段階では生成AI活用のリテラシーに合わせて、答えを教えないかたちで段階的に使い、2学期以降・高学年や高校生など、情報リテラシー教育が進んだ段階では、自由にプロンプトを活用するといった使い分けができます。

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

スタディポケット for STUDENT を導入することで、探究的な学びの質が大幅に向上します。例えば、生徒が適切な問いを立てることができる割合は、従来の授業では約30～40%にとどまるとされていますが、本サービスの「探究学習モード」を活用することで、60%まで向上させることを目標としています。また、情報収集や整理にかかる時間は、従来の手法に比べ、AIが要点を整理し、関連情報を提示することで、30%の時間短縮を目標としています。

(3) サービスの活用場面

- ・宿題のサポート・調べ学習・探究学習・英作文文章づくり・資料のまとめ・わからないところの質問・テスト勉強・授業中の活動

(4) 1サービスあたりの標準販売価格

※金額については個別にお問い合わせください。

2. サポート内容（サービスの利用に際しての自社のサポート体制等）

活用促進に向けた研修や、電話・メールでの問い合わせサポート。および、進捗状況のヒアリング等でプロアクティブにお困りごとの解消。

学校現場では、教職員の業務負担増加やICT・生成AI活用の格差、生徒の探究的な学びを支える仕組み不足が課題となっていました。

スタディポケットの導入により、教職員の授業準備や校務の効率化と指導の質向上が進み、生徒が主体的に考え、学びを深める探究的な学習環境の整備が実現しました。

児童生徒・教職員が抱える課題

学校現場では、教師の業務負担が増大し、授業準備や教材作成、個別指導の時間が確保しにくいという課題があります。また、ICT活用の格差や、生成AIの利活用の差も指摘されています。

また、探究的な学びでは、生徒が主体的に問いを立て、情報を整理し、考察を深める力が求められます。しかし、多くの学校現場では「適切な問いを立てることが難しい」「学びを深めるためのフィードバックが不足している」といった課題があります。

サービスが果たす役割

スタディポケット for TEACHER は、授業準備の効率化や教材の自動生成、個別指導のサポートを通じて、教師の負担を軽減し、指導の質を向上させます。生成AIが個別最適な学びを支援し、教師は生徒との対話や創造的な指導に集中できます。また、直感的な操作で、生成AIに不慣れな先生でも簡単に利用できる設計となっており、安全な環境で安心して導入可能です。これらの機能を通じて、教育現場の働き方改革を支援します。

スタディポケット for STUDENT は、AIが生徒の思考を促す質問を投げかけたり、生徒が得た情報をもとに新たな視点を考えるよう促すことで探究学習の質を向上させます。また、マルチモーダル対応により、画像や音声も活用できるため、個々人に応じた探究活動を実現できます。これらの機能により、探究的な学びの高度化を促し、生徒の思考力・表現力の向上を支援します。

■ 探究・校務改革支援補助金における活用場面

サービスの活用風景・授業の流れ

スタディポケットを活用し、校務では業務の効率化を図るとともに、授業においては生徒一人ひとりに応じた支援を行い、学習効果の向上につなげました。

■ 校務における活用

実際の画面（プリント等の作成支援）



校務においては、注意喚起などの保護者向け・生徒向け通知文を作成する場で、必要な情報を入力することで内容を整理し、迅速な文書作成が可能となり、業務の効率化につながりました。

■ 英語科の授業における生徒の活用

実際の生徒の画面（英作文の添削・作成支援）



英語科の授業では、自分の考えを英文にする際に、まず自力で文章を作成し、その後、不自然な表現や誤りがないかを確認・添削してもらうために活用していました。

■ 探究・校務改革支援補助金における導入実証実績

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数

11

学校等教育機関数 56校

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	旭川市教育委員会	旭川市立新富小学校	北海道	小学校	なし	【カテゴリ2-1】授業・授業準備・事務
2	一関市教育委員会	一関市立一関小学校 他34校	岩手県	小学校	なし	【カテゴリ2-1】授業・授業準備・事務
3	横浜市教育委員会	横浜市立美しが丘中学校	神奈川県	中学校	1～3年生	【カテゴリ1-1】英語・算数数学・国語・古典・理科・社会・道徳・家庭科・情報・総合/探究
4	学校法人開智学園	開智所沢中等教育学校	埼玉県	中等教育学校	1年生と2年生	【カテゴリ1-1】英語・算数数学・国語・古典・理科・社会・道徳・家庭科・情報・総合/探究
5	学校法人金井学園	福井工業大学附属福井高等学校	福井県	高等学校	1～3年生	【カテゴリ1-1】英語・算数数学・国語・古典・理科・社会・道徳・家庭科・情報・総合/探究
6	学校法人上智学院	広島学院中学校	広島県	中学校	1～3年生	【カテゴリ1-1】英語・算数数学・国語・古典・理科・社会・道徳・家庭科・情報・総合/探究
7	学校法人上智学院	広島学院高等学校	広島県	高等学校	1～3年生	【カテゴリ1-1】英語・算数数学・国語・古典・理科・社会・道徳・家庭科・情報・総合/探究
8	学校法人國學院大學 栃木学園	國學院大學栃木中学校	栃木県	中学校	1～3年生	【カテゴリ1-1】英語・算数数学・国語・古典・理科・社会・道徳・家庭科・情報・総合/探究
9	学校法人國學院大學 栃木学園	國學院大學栃木高等学校	栃木県	高等学校	1～3年生	【カテゴリ1-1】英語・算数数学・国語・古典・理科・社会・道徳・家庭科・情報・総合/探究
10	台湾日本人会台中日 本人学校運営委員会	1～9年台中日本人学校	台湾	日本人学校	1～9年生	【カテゴリ1-1】英語・算数数学・国語・古典・理科・社会・道徳・家庭科・情報・総合/探究
11	大阪府教育委員会	大阪府立茨木工科高等学校 定 時制の課程	大阪府	高等学校	1年～4年	【カテゴリ1-1】英語・算数数学・国語・古典・理科・社会・道徳・家庭科・情報・総合/探究

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数

11

学校等教育機関数

56校

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
12	独立行政法人国立高等専門学校機構	一関工業高等専門学校	岩手県	高等専門学校	1~3年	【カテゴリ1-1】英語・算数数学・国語・古典・理科・社会・道徳・家庭科・情報・総合/探究
13	福知山市教育委員会	福知山市立夜久野学園	京都府	小学校	なし	【カテゴリ2-1】授業・授業準備・事務
14	福知山市教育委員会	福知山市立遷喬小学校	京都府	小学校	なし	【カテゴリ2-1】授業・授業準備・事務
15	福知山市教育委員会	福知山市立成仁小学校	京都府	小学校	なし	【カテゴリ2-1】授業・授業準備・事務
16	福知山市教育委員会	福知山市立上豊富小学校	京都府	小学校	なし	【カテゴリ2-1】授業・授業準備・事務
17	福知山市教育委員会	福知山市立庵我小学校	京都府	小学校	なし	【カテゴリ2-1】授業・授業準備・事務
18	福知山市教育委員会	福知山市立大江学園	京都府	小学校	なし	【カテゴリ2-1】授業・授業準備・事務
19	福知山市教育委員会	福知山市立六人部小学校	京都府	小学校	なし	【カテゴリ2-1】授業・授業準備・事務
20	福知山市教育委員会	福知山市立大正小学校	京都府	小学校	なし	【カテゴリ2-1】授業・授業準備・事務
21	福知山市教育委員会	福知山市立修斉小学校	京都府	小学校	なし	【カテゴリ2-1】授業・授業準備・事務
22	福知山市教育委員会	福知山市立昭和小学校	京都府	小学校	なし	【カテゴリ2-1】授業・授業準備・事務

【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

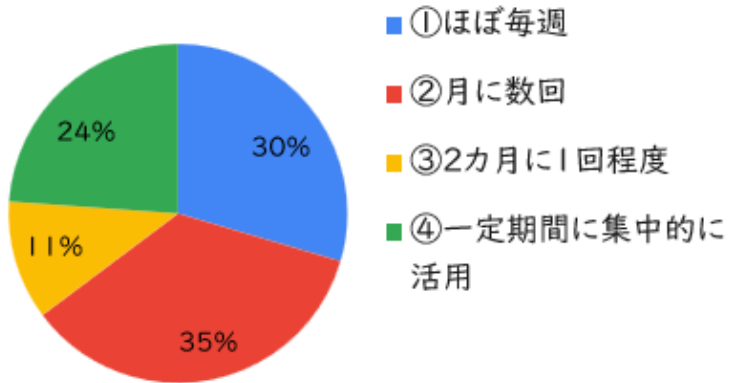
スタディポケット for TEACHER

本製品を導入した学校の教職員109名を対象にアンケート調査を実施し、現場での活用実態と導入効果を検証いたしました。

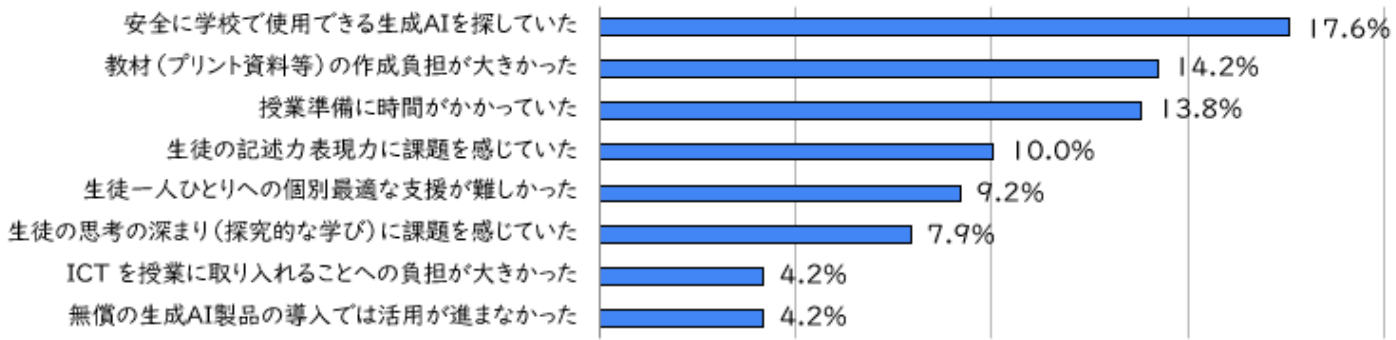
定量的効果検証

利用者の65%が月1回以上活用し、導入前に抱えていた安全性や業務負担の課題に対して、72%が改善を実感するという高い導入効果を示している。

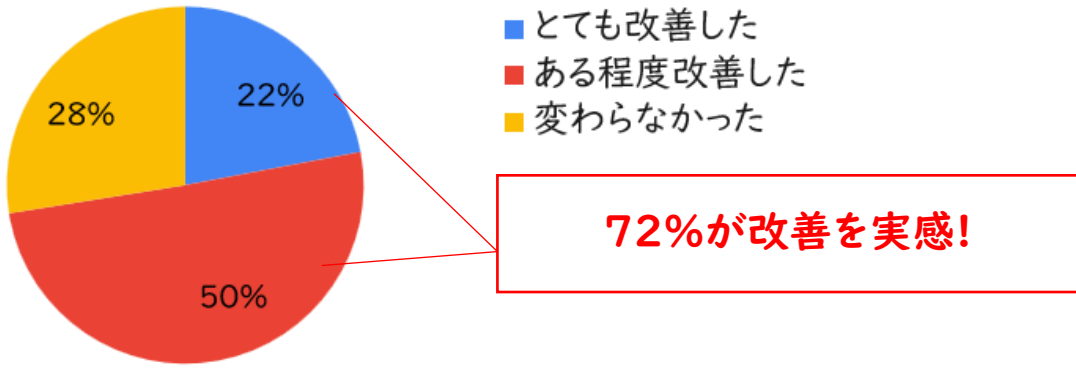
スタディポケットを授業や校務でどの程度活用しましたか。
有効回答数：n=88



補助金でのスタディポケット導入を検討するにあたり、授業や校務等において特に課題だと感じていた点を教えてください。(複数回答)
有効回答数：n=109(計239回答)



上記の課題は、スタディポケットの活用によってどの程度改善したと感じますか？ 有効回答数：n=109



【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

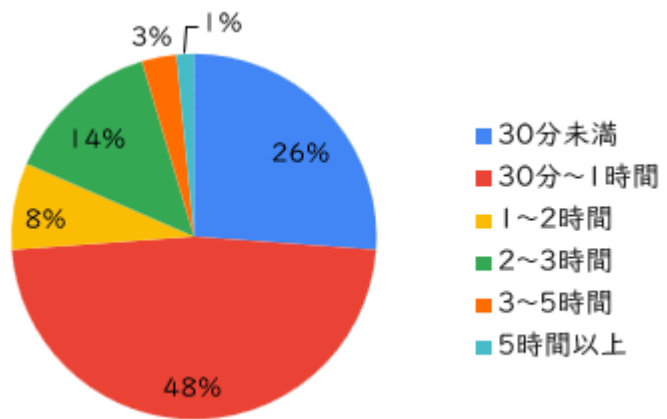
スタディポケット for TEACHER

本製品を導入した学校の教職員109名を対象にアンケート調査を実施し、現場での活用実態と導入効果を検証いたしました。

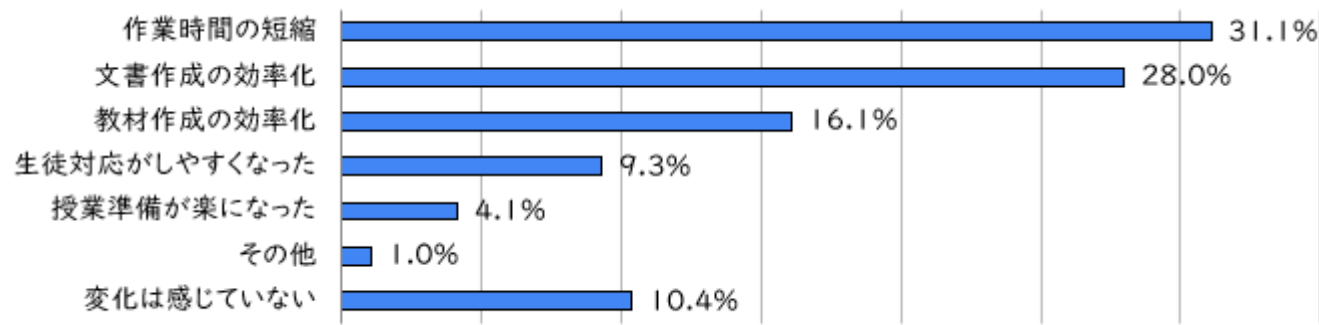
定量的効果検証

利用者の74%が週30分以上の業務時間の削減に成功。
業務時間の削減以外にも文章作成の効率化等、約89%の利用者が導入前との変化を実感している。

1週間あたり、業務時間はどれくらい削減できたと感じますか？
有効回答数：n=65



先生ご自身の業務において、導入前と比較して印象的だった変化があれば教えてください。(複数回答)
有効回答数：n=109(計193回答)



定性的効果検証

AI活用による校務効率化と生徒の思考・表現の深化が相乗効果を生み、個別最適な学びと働き方改革を同時に加速させる成果が出ている。

実際の授業や校務における活用例、または印象に残ったエピソードがあれば教えてください。(教職員109名の自由記述より抜粋)

- ・保護者向け文書やPTAからのお知らせ文書、職員向けの研究だよりなど作成時に活用し、時間短縮につながった。
- ・類題を作成する際に使用した。発展問題も作成することができ、宿題づくり等にも活用できた。
- ・和文英訳を添削するテンプレートを使用することにより、生徒自身が書いた英作文そのものを添削できるようになり、生徒の定着度が良くなった。
- ・学校評価アンケートにおける生徒や保護者の自由記述を整理する際に、短時間で作業を終えることができ、有効性を実感することができました。

【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

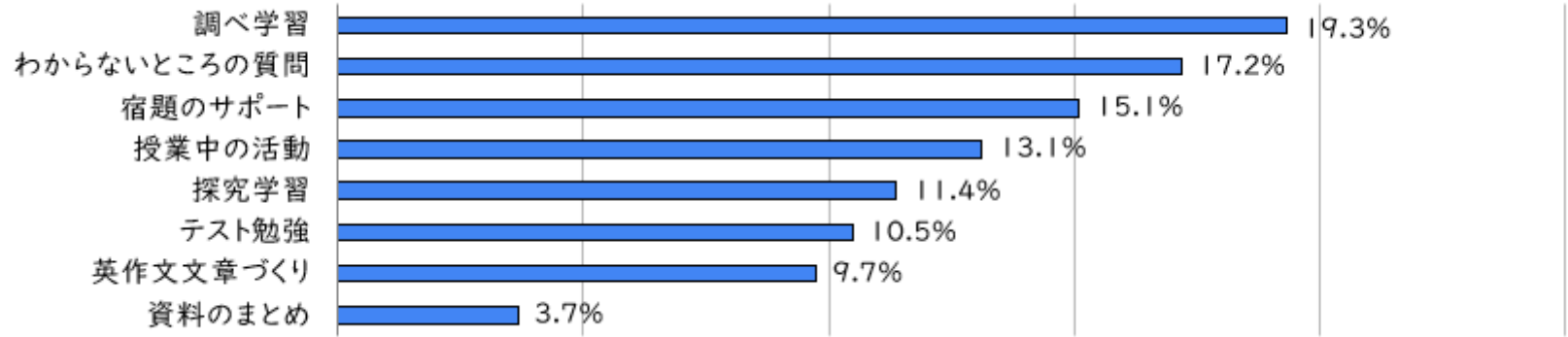
スタディポケット for STUDENT

本製品を導入した生徒1,103名を対象にアンケート調査を実施し、現場での活用実態と導入効果を検証いたしました。

定量的効果検証

「わからないところの質問(17.2%)」を中心に、教科書を補完して個別の疑問解消の効果を実感。宿題のサポートなど、家庭での自立的な学びを支える活用も多く見られた。

どんな場面で使いましたか?(複数回答)
有効回答数:n=1,103(計1,775回答)



定性的効果検証

不明点の丁寧な解説や英作文の添削、調べ学習の効率化など、個々のニーズに応じた即時的な学習サポートに高い価値を感じている。

どんな時に「使ってよかった」と思いましたか?(児童生徒1,103名の自由記述より抜粋)

- ・教科書でも理解しにくかった部分がわかりやすく解説されているおかげで、理解でき勉強がスムーズになった
- ・探究のテーマ決めや考察の書き方
- ・自分の書いた英語文章を添削するのに使った時
- ・教科書だけじゃ理解できてないところを説明してくれた時

■探究・校務改革支援サービスを活用した児童・生徒・教職員等のコメント感想等

■**教職員より** ※本コメントは、教職員49名分の感想の中から、代表的なものを抜粋して掲載しています。

- ・今や教員の相棒としてなくてはならない存在になりつつある。
- ・AIを使うことで、自分で考えなくなるのではないかと思っていましたが、今までより効率的に題材についての学びを深めることができるようになってきたと感じています。
- ・文書作成や、問題作成の際にたいへん有効活用することができた。
- ・保護者への文章がすごく書きやすくなった。
- ・学校向けになっている点、個人情報などの取扱い方などは使用するにあたって非常に安心して使えると感じた。
- ・日常の業務において、ヒントやアイデアを貰えたり、整理したりするときに便利で業務時間も少し短縮できていると感じている。
- ・学年のレベルに合わせた問題の作成や生徒へのアプローチの仕方など、参考資料を探す時間の削減に役立っている。
- ・学校向けで、答えを直ぐに教えず、生徒が考えながら取り組める点が良い。
- ・文書作成や英作文の添削に活用してみて、大変便利だと感じています。
- ・文書作成に係る時間が短縮されて効率化を図ることができた。

■**児童生徒より** ※本コメントは、児童生徒305名分の感想の中から、代表的なものを抜粋して掲載しています。

- ・スタディーポケットがないと出来ないこと(調べ物など)がたくさんあって、ほんとに便利だなと思います。これからもたくさん使っていきたいです。
- ・勉強のサポートにもなるしとても良いアプリだと思った。
- ・文章を直すのにすごく便利でした。
- ・いつもわからない問題の解き方がわからない時に役立っています。
- ・Study Pocketを学習で利用することによって問題の理解が深まったりいろいろな解法を知ることができ良かった。
- ・答えをはっきり出してこんところはよかった。あくまで補助機能であり、自分で考える必要があるような形なら学習に役立つと感じた。
- ・探究活動では多用して自分の活動の幅を広げられました。
- ・小学生向けに説明してというところすごくわかりやすくて助けになっている。自分だけの先生というような存在になっている。
- ・情報がAIの学習に利用されないということなので、openAIなど他のAIを利用する時よりも気軽に利用することができ、また、様々な用途に使用することができた。

サービス導入後、数学の学習における図表解説や、授業の幅を広げる画像生成など、現場の先生方から多くの具体的な要望が寄せられました。

多角的なニーズに応え、生徒の「納得」や「ひらめき」をより効果的に引き出せる実用的なツールへと、サービス全体の機能拡充と改善を進めて参ります。

直面した課題

サービスの利用が進む中で、
「数学などの学習場面においては文章による解説に加え、グラフや図形を交えた視覚的な説明が欲しい」という声や、
「授業の補助資料や説明の幅を広げるために『画像生成機能』を導入してほしい」という具体的な要望を幅広くいただくようになりました。

チャット機能のほかに、生徒の「ひらめき」や「納得」をより効果的に引き出すツールへとサービス全体をアップデートさせていくことを、期待を込めてお求めいただいております。

解決するための改善策

現場の先生方からの要望を受け、2025年12月に「画像生成機能」を実装いたしました。
その他に「スライド生成機能」を搭載するなど、授業内での視覚的な資料提示に活用でき、教育現場のニーズに即応した柔軟な活用環境を整えています。

また、今後も実際の利用シーンを詳細に分析し、チャットについても解説の質を向上させるための技術的な検証を進めていきます。
多様な学習内容に即した適切な回答が提示できるようシステム改善を図るとともに、FAQの拡充など運用体制を整えることで、学校現場や家庭での学習においてより効果的に活用できる環境づくりに努めて参ります。

■会社概要

社名	スタディポケット株式会社
代表	代表取締役CEO 山地 瞭 代表取締役CPO 鶴田 浩之
設立年月	2019年7月1日
本社	東京都千代田区内幸町2-1-6 日比谷パークフロント19F
資本金等	8,999万円
売上高等	非公開
従業員数	非公開
事業内容	生成AIを活用した教育ソフトウェアの開発事業 校務DXに関する支援事業 教育サービス事業

■お問い合わせ窓口

担当:スタディポケット株式会社 カスタマーサポート

電話:050-1720-5787 (24時間対応の自動音声コールセンター)

Mail: support@studypocket.co.jp